

市の課題とICTを取り巻く環境

ICTは暮らしを豊かにするだけでなく、地域の課題を解決するための手段としても期待されています。札幌の強みを生かし、ICTを積極的に取り入れることで、行政サービスの向上や課題解決への活用を目指しています。

市が抱える課題

1 人口が減少し、働く世代が不足

主な働き手となる15歳から64歳の人口が2060年までに48万人減少する一方で、65歳以上の人口は18万人の増加が見込まれています。



2 若者の市外への転出

市内への就職希望が多い状況ですが、理系の男性で7割以上、女性で5割以上、文系で男女ともに約5割が市外に就職しており、ICTの活用を進める理系人材の転出が特に目立ちます。

3 新型コロナウイルス感染症のまん延

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民生活と市内経済に深刻な影響が生じています。

札幌の強み

1 ICT関連企業の集積

市では全国に先駆け、情報通信事業者の研究開発型産業団地である札幌テクノパークを1986年に造成しました。現在では市内IT産業の売上高は年間4,000億円を超え、従業員数も全国で7番目に多い約16,000人に。市の産業にとって大きな役割を果たしています。



▲厚別区にある札幌テクノパークではICT関連企業が40社以上集積し、約2,000人が働いている

2 大学の研究機関が充実

北海道大学や札幌市立大学などの研究成果の蓄積も豊富。企業・大学・行政が連携し、新しい技術の活用に向けた取り組みや人材育成を行っています。

3 積極的に取り組む実証実験

市ではこれまでに観光、雪対策、健康の3分野でICTを活用した実証事業を実施。実用化を目指して取り組みを進めています。

ICTを活用して 地域課題を解決 暮らしの利便性を高める

次のページで
市の施策の一部を
紹介します

北海道IT推進協会の
入澤会長にお話を聞きました

ICTは暮らしに欠かせない生活の基盤だと考えています。ICTを通じて地域のさまざまな課題解決に取り組むとともに、産業の枠を超えて連携し、札幌に仕事を作り、人材を育てていきたいです。そして、未来の札幌をより便利で快適なまちにしていきたいですね。



私たちの暮らしを変える ICT

インターネットの急速な発展や、携帯電話・スマートフォンの普及により、新しい情報を瞬時に入手したり、インターネット上で買い物をしたりと、情報通信技術 (ICT) は私たちの暮らしや仕事に欠かせない存在となりました。このページでは、ICTを取り巻く環境や市の活用事例をご紹介します。

【問い合わせ】ICT戦略推進担当 ☎211-2136

私たちの身近にあるICT

ICTと聞いても何かよく分からない、難しそうと、苦手意識を持たれる方も多いかもかもしれません。しかし、こうした技術はすでに普段の生活の身近なところで活用されています。

例えば

キャッシュレス決済



クレジットカードや電子マネーで支払いができるようになり、会計がスムーズに。たくさんのお金の持ち歩きや小銭の管理も不要になりました。

テレワーク



インターネット環境とパソコンなどの機器を使って、遠隔でのコミュニケーションが可能に。時間や場所の制約を受けずに働けるようになりました。

地上デジタル放送のデータ放送

テレビのリモコンのdボタンを押すと最新の天気や市からののお知らせなどが見られるほか、番組のクイズや投票にリモコンで参加できるようになりました。



SAPICA (交通系ICカード)

チャージ (入金) しておくと、地下鉄や市電、バスの降車時に運賃を精算。乗車券を買う必要がなくなり、乗り継ぎの割引料金も自動的に計算されるので便利です。



ICTを活用して行政手続きを便利に マイナンバーカードを作って マイナポイントを手に入れよう!

マイナンバーカード(個人番号カード)とは?

国内の全住民が持つ12桁のマイナンバーのほか、氏名、住所、生年月日などが記載されているカード。身分証明書として使用でき、住民票などのコンビニ交付でも利用できます。3月(予定)からは健康保険証としても利用が可能になり、さらに便利に。まだ持っていない方はぜひ手続きを。



今ならマイナンバーカードをお持ちの方は、選んだキャッシュレス決済サービスでチャージや買い物をすると、その額の25%分(上限5,000円相当)のマイナポイントがもらえます。
※令和3年3月末までにマイナンバーカードを申請した方も付与対象となる予定

マイナンバーカードの申請方法 [問い合わせ] 各区戸籍住民課(1ページ)

郵送による申請

用意するもの

顔写真、通知カードまたは個人番号通知書に同封された個人番号カード交付申請書、送付用封筒。無い場合は各区戸籍住民課(1ページ)へ電話か、ホームページからダウンロード

- ①申請書に必要事項を記入し顔写真を添付
- ②送付用封筒に入れて郵便ポストに投函

マイナンバーカード 札幌 [検索](#)

オンライン申請

用意するもの

申請書ID付きの個人番号カード交付申請書。無い場合は各区戸籍住民課(1ページ)へ電話

- ①カメラで顔写真を撮影
- ②申請書の二次元コードやインターネットから申請用サイトにアクセス。必要事項を入力し顔写真を添付の上送信

マイナンバーカード 札幌 [検索](#)

受け取り

自宅に個人番号カード交付通知書が届きます。到着後、区役所でマイナンバーカードをお受け取りください。

3つのいずれかの手段から マイナポイントを取得しよう [問い合わせ] マイナポイントお問い合わせ窓口☎050-3733-6375

スマートフォン

「マイナポイントアプリ」をダウンロードし申請



パソコン

マイナンバーカードに対応したカードリーダーを用意して専用サイトから申請



マイナポイント 予約 [検索](#)

区役所・マイナポイント手続きスポット



区役所、郵便局、auショップ、ドコモショップ、ソフトバンクショップ、イオングループの店舗などにある端末から申請

札幌のさらなる発展を目指して

近年、目覚ましく発展するICT。こうした新しい技術の進歩に伴って、社会の動向も大きく変化しています。市でもこの流れを捉え、ICTにあまりなじみがない方にも配慮しながら、より便利で暮らしやすいまちを目指していきます。

ICTの活用を詳しく知りたい方向けに冊子を配布中
[配布場所](#)ホームページ、市役所5階ICT戦略推進担当

札幌市 ICT活用戦略 [検索](#)



市のICT活用事例

人手不足対策

除排雪作業の効率化・省力化

除雪車の運転手などの不足に対応するため、バックカメラやセンサーといった安全装置を取り入れ、2人乗りから1人乗りへ。そのほか、GPS*から除雪車の運行経路を取得し、手作業で行っていた作業記録を自動で作成できるシステムの導入を進めています。

*人工衛星を使って現在位置を計測できるシステム

安全装置



バックカメラ



センサー

安全・安心な暮らし

障がいのある方の119番通報をスムーズに

聴覚・言語機能に障がいがあるなど、音声による119番通報が困難な方が円滑に消防へ通報できるシステム「NET119」を導入。スマートフォンのGPS機能を活用することで住所入力が省略でき、「救急」「火事」を選択するだけで通報ができます。

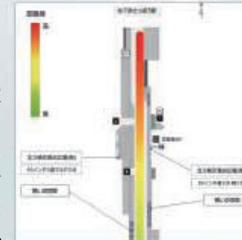


NET119 札幌 [検索](#)

コロナ対策

人の流れや混雑度を公開

チ・カ・ホ(駅前通地下歩行空間)に人流センサーを設置し、方向別の通行量を毎日集計。そのデータを活用し、コロナ禍における人の流れや混雑状況を観測するとともにホームページで公開しています。



札幌市都心部 人の流れ [検索](#)

3密対策に役立つ 機器の設置を支援

店内の混み具合や換気状況、マスク着用率を可視化する機器の導入を補助。飲食店などが行う3密対策を支援し、お店や来店者の不安を軽減します。



市が企業に導入経費を助成している「アイテル」では、無料通信アプリ「LINE」を使って店内の混雑状況を確認できる

利便性の向上

バスの現在位置が分かる

ホームページやスマートフォンアプリで札幌周辺の公共交通の時刻表や運賃、乗り継ぎ経路などを検索できる「さっぽろえきバスナビ」。今回新たにGPSを活用し、バスの到着予測時刻や現在の位置情報を見られるようになりました。これでバスの運行状況への不安も解消されます。



さっぽろえきバスナビ [検索](#)

小中学生を対象としたプログラミングイベントをオンラインで開催

簡単なゲームを作ったり、ロボットを動かしたりといったプログラミングを体験できます。プログラミングが小学校で必修化された今、楽しみながら論理的思考力を育ててみませんか。

日時2/13(土)10時~16時

対象インターネット環境があり、パソコンを持つ小中学生の方
定員体験内容により異なる

費用無料

申し込み1/22(金)からホームページで申し込み。先着

ジュニアプログラミングワールド [検索](#)

詳細さっぽろ産業振興財団☎807-6000

